



企業家組合ノ起因及ビ保護的關稅ニ對スル其關係(2)

氣賀，勘重

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 3(5):657-676

(Issue Date)

1907-11

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051200>



企業家組合ノ起因及ビ保護的關稅ニ

對スル其關係 (其二完結)

慶應義塾大學教授

ドクトル 氣 賀 勘 重

(三)

然レド此等ノ原因ハ凡テノ産業凡テノ社會凡テノ時代ニ於テ常ニ同一ニ具備セルモノニ非ズ、社會ノ狀態ニ依リ、産業ノ種類ニ依リ將タ當該産業發達ノ程度ニ依リテ各々其強弱大小ヲ異ニシ、從テ企業家組合成立ノ難易ヲ異ニセリ。今試ニ此難易ヲ決定スルノ事實換言スレバ企業家組合發達ノ條件ト稱ス可キモノヲ此ニ列舉センカ。

第一ハ大經營殊ニ巨大ノ固定資本ヲ必要トスル大經營ノ發達ナリ。蓋シ事業ノ縮少、經營ノ減縮ハ營ニ利潤ノ減少ヲ意味スルノミナラズ、之ニ投ゼル資本ノ回收ハ一般ニ容易ノ業ニ非ズ殊ニ固定資本ノ急速ノ回收ハ全然不可能事ナルヲ以テ

資本ノ不使用ヨリ生ズル利子ノ損失竝ニ資本減價ノ損失ヲモ隨伴スルノ實アリ。故ニ生産物ノ代價下落シテ縱令ヒ多少ノ損失アリトスルモ經營ノ縮少又ハ廢止ヲ行フ能ハザルハ世間ノ通態ナリ。然ルニ經營ノ愈々増大スルニ從ヒ一般ニ固定資本ノ割合ハ益々増加シ經營ノ縮少ハ愈々困難ト爲ルノ傾アルヲ以テ、競爭ヨリ生ズル危險ハ愈々加ハリ企業家組合組織ノ必要ハ愈々加ハラザルヲ得ズ。教授「ブレンターノ」ガ前掲ノ書中ニ於テ現今企業家組合組織ノ必要ハ過去ノ經營ノ主トシテ流動資本ニ依レルニ反シ近來固定資本利用ノ割合益々増加セルニ基因スト論ゼルモ畢竟此理ニ外ナラズ。其他近世ニ於テ大經營ノ發達ヲ促シタル諸原因卽チ技術ノ發達、交通機關ノ進步、市場ノ擴大、資本ノ増加竝ニ之ニ伴ヘル幾多ノ結果卽チ運賃ノ下落、物價ノ下落、市場的生産ノ發達等ハ又大ニ競爭ヲ激烈ニシテ企業家ニ對スル其壓力ヲ愈々甚シカラシメタルノ實アリ。此點ヨリ云ヘバ大經營ノ發達ハ實ニ企業家組合發達ノ最要ノ原因ト稱ス可ク、企業家組合ノ發達ガ近世的技術ノ應用最モ盛ニ行ハレ、大經營ノ發達最モ迅速ナリシ製造工業及ビ鑛山業ノ方面ニ最モ著シク、産業的變動ノ影響最モ少ナク經營亦大ヲ加ヘザル農牧業ノ方面

ニ殆ド之ヲ見ザルモ畢竟主トシテ此理由ニ出デタルナリ。

次ニ企業家組合發達ノ第二ノ條件ハ同業者互ニ其生産方法及ビ生産ノ條件ヲ等フセルカ或ハ少クトモ相互ノ間相類似セルコト是ナリ。蓋シ一企業家ノ採レル生産方法若シクハ其ノ有セル生産條件、他ノ企業家ニ比シテ遙ニ有利ナルモノナランカ該企業家ハ競争場裡ニ於テ敵手ヲ驅逐シ得ルノ勝算歷々タルヲ以テ、好シデ其自由ト勝利後ニ於ケル利益トヲ犠牲ニ他ト結ブノ愚ヲ爲ササル可ク、從テ斯ル場合ニ於テハ一方ノ劣者ガ非常ノ犠牲ヲ忍ビ、勉メテ優者ノ提案ニ迎合スルニ非ザレバ企業家組合ノ成立ハ到底之ヲ見ルコトヲ得ザル可キナリ。然ルニ各種ノ生産方法ニハ多ク互ニ一長一短アリ、各地各企業家ノ生産條件亦種々様々ニシテ動力便ナレバ原料少ナク、原料裕ナレバ運輸不便ナル等、優劣ノ等差容易ニ判斷シ難キモノアリ。加フルニ各自ノ利害心常ニ多少其批判ヲ左右シ、自家ノ長處ヲ過大視スルト共ニ他ノ短處ヲ誇張視スルノ傾アルハ人情ノ自然免ル可ラザル所ナルヲ以テ、生産方法及ビ生産條件ヲ異ニセル企業家ノ聯合及ビ合同ハ成立頗ル困難ナルヲ免レザルヲ常トス。國ヲ異ニセル同種企業家間、風土氣候地味又ハ人口ノ密

度ヲ異ニセル各地ノ同業者間、サテハ生産ノ技術ヲ異ニセル同種產業者間ノ聯合及ビ合同ガ一般ニ長年月ノ激烈ナル競争ヲ經タル後ニ非ザレバ容易ニ成立セザルハ蓋シ此理由ニ外ナラズ。競争上ノ勢力著シク異ナレルノ事實實際ニ證明セラレザル限り妥協ハ容易ニ成立セズ組合ハ到底成立スルヲ得ザル可キナリ。

第三ニ企業家組合ノ發達ヲ助成スルモノハ該企業ガ同種同質ノ貨物ヲ多量ニ生産スルモノナルコト、換言スレバ大量生産(Massenproduktion)ヲ事トスル企業ナルコトナリ。蓋シ斯ル貨物ノ生産ニハ競争ノ發生容易ナルノ常ナレハナリ。之ニ反シテ各個人特種ノ欲望ニ應ズル貨物、殊ニ流行又ハ各人ノ趣味ニ支配セラル、貨物ハ通例各企業家特有ノ顧客ヲ有シテ其間容易ニ競争ノ發生セザルノミナラズ、其品質種類頗ル雜多ニシテ一定ノ代價ヲ協定スルコト甚ダ困難ナルガ上ニ、縱令ヒ之ヲ協定シ得タリトスルモ其協定ノ遵守及ビ其遵守ニ對スル監督非常ニ困難ナルモノアリ。又製作者ノ技能ニ依リ其出來際ノ巧拙ニ依リテ價值ヲ異ニスル美術工藝ノ作品ノ如キニ至リテハ個々代價ヲ異ニシ、到底協約的ニ豫メ之ヲ定メ得可キニ非ズ、競争ノ範圍痛ク局限セラル、ト共ニ、企業家組合組織ノ如キハ全然蛇足

タルナリ。然レハ企業家組合ノ發生スルハ特定ノ顧客、一定ノ注文者ヲ目的ニ生産セル企業家ノ方面ニ在ラズシテ廣ク社會一般ノ顧客、未確定ノ購買者ヲ目的ニ所謂市場的生産ヲ事トセル企業ノ方面ニ存ズルナリ。依是觀之、企業家組合ノ發達ガ精製業ヨリモ粗製品原料品ノ生産業ノ上ニ起リ、奢侈品工藝品ノ産業ヨリモ日常用品ノ生産業ノ方面ニ多ク起ルハ當然ノ成行ニシテ、爾來各國ノ歴史亦明ニ此理ヲ示セルハ毫モ怪ムヲ要セズ。之ト同時ニ大量生産市場生産ハ前述セル大經營發達ノ結果ニシテ又其發達ヲ促進スルノ原因ナレバ此條件ハ第一ノ條件ニ當然隨伴セルモノト稱ス可キナリ。

此條件ニ次テ企業家組合ヲ助成スル第四ノ條件ハ當該企業生産物ノ購買者ガ一致團結既ニ組合ヲ組成セルコトナリ。例令ハ或ル精製業者ニシテ購買的聯合ヲ組織シ獨占的購買者トシテ購買條件ヲ任意ニ左右セントスルアラシカ、原料又ハ半製品ヲ之ニ供給スル企業家ガ反對組合ヲ組織シ、等シク獨占的販賣者トシテ之ニ對抗スルノ策ヲ講ズルハ自衛上當然ノコトニシテ、時ニ或ハ自家存立ノ爲ニ盡サバル可ラザルノ策タルコトアリ。商人又ハ消費者ノ聯合的行動ガ生産業者ノ組

合組織ヲ誘起スルモ亦此理ニ外ナラズ。此點ヨリ觀レハ企業家組合ノ組織一度廣ク行ハル、ニ至リシ以來、其發達ガ商業家及消費者ヨリモ生産業者ノ方面ニ精製業者ヨリモ半製業者、半製業者ヨリ粗製業者ノ方面ニ一層著シク、生産ノ經過上下位ニ位スル産業ガ上位ニ位スル産業ヨリモ其發達ニ便利ナル狀アルハ敢テ怪ムニ足ラザル可シ。

其他第五ニ此發達ニ必要ナル條件ハ當該産業ノ所用原料ノ代價竝ニ其生産物ノ分量及ビ需要ニ急激多大ノ變動ナキコトナリ。蓋シ原料ノ代價常ニ甚シキ動搖ヲ免レザルカ、若シクハ原料其他ノ關係ノ爲ニ生産量ノ大小常ナク之ニ對スル需要ノ伸縮亦甚ダシキ動搖ヲ免レザルモノナランカ、代價其他販賣條件ノ協定ハ頗ル困難且ツ不確實ナルヲ免レズ。又縱令ヒ之ヲ協定シタリトテ一朝需要ノ減縮ニ遇ヘバ之ヲ維持スルコト到底不可能事ト爲ラザルヲ得ズ。企業家組合ノ組織及ビ繼續ヲ困難ナラシムルノミナラズ其效用ヲ薄弱ナラシムルコト、惟フニ之ニ過ギタルハナシ。奢侈品流行品ノ生産者ガ日用品、普通品ノ生産者ニ比シテ遙ニ聯合ノ困難ヲ感ズル其理由ハ亦一ニ此點ニ存ゼザルヲ得ズ。斯ル産業ニ在リテハ縱令ヒ

組合ヲ組織スルモ其組合ハ概シテ散漫不鞏固ナルヲ免レズ「トラスト」其他ノ鞏固ナル團結ハ到底之ヲ此種企業家ニ期待スルヲ得ザルナリ。

併シ以上ノ諸條件ニ比シテ更ニ重要ナル第六ノ條件ハ競争企業家ノ數ノ少ナキコト是ナリ。蓋シ同種企業家ノ數愈々少ナケレバ協議愈々纏マリ易ク一致ノ態度愈々容易ニ確保サレ得可ケレバナリ。此點ヨリ觀レバ競争ノ區域ヲ少ナカラシムル各種ノ原因殊ニ運賃ノ騰貴、關稅ノ引上ケ等ハ企業家組合ノ發達ヲ最モ有力ニ助成スルモノト云フ可シ。蓋シ運賃愈々高價ナレバ分量ノ割合ニ代價低廉ナル各種ノ貨物ニ關シテハ遠隔ナル同種企業家間ノ競争ハ愈々困難ト爲ル可ク、從テ競争者ハ相互近在セル同地方ノ同業者ノミト爲リ、此等ノ同業者サヘ協同スレバ其地方ニ於ケル企業家組合ハ即チ其目的ヲ達シ得可ケレバナリ。數多ノ所謂地方的企業家組合ハ概チ此ル關係ヨリ起レルモノニシテ交通機關ノ運賃政略ガ企業家組合ノ興亡存否ニ影響スルモ一ニ此點ニ在リ。之ト等シク保護的關稅ハ亦外國同業者ノ内地企業家ニ對スル競争ヲ制限若シクハ杜絕シテ、生産條件ヲ異ニセル競争者ノ大多數ヲ競争圈外ニ驅逐スルガ故ニ又大ニ競争企業家ノ數ヲ減ジ其聯

合ヲ容易ナラシムルモノアリ。其他資本ノ集中大經營ノ發達モ亦企業家ノ數ヲ減ズルノ點ニ於テ等シキ結果ヲ伴フノ實アリ。要スルニ競爭者ノ存ズル區域愈々増大シ其經營愈々小ナルニ從ヒ競爭者ノ數愈々多ク企業家組合ノ成立ハ愈々困難ナラザルヲ得ズ、一國內ノ競爭制限ヲ目的トスル內國組合ガ國際的企業家組合ヨリモ成立遙ニ容易ナルガ如キ畢竟此理ニ外ナラザルナリ。

其他第七ノ條件トシテ最後ニ舉グ可キハ企業家一般ノ經濟的洞察力及ビ性格ナリ。一般企業家ニ非慘ナル競爭ノ結果ヲ洞察スルノ明ナカラシカ、他ニ如何ナル便宜ノ條件アルニセヨ、容易ニ好ンデ其自由自利ノ境遇ヲ犧牲ニセザル可ク、組合組織ノ議ニ應ゼザル可シ。組合組織ノ協議ニ際シ各企業家ガ銘々任意誇大ノ條件ヲ提出シテ其成立ヲ不可能ナラシメ、激烈ナル競爭ト非常ナル損害ヲ受ケタル後漸ク初テ昨非ヲ悟ルニ至レル其例ハ企業家組合史上決シテ其例ニ乏シカラズ。何レモ各自ノ不明ノ致ス所ナラズンバアラズ。又企業家一般ニ自由自由ヲ喜ブノ性格ヲ具フル場合ニハ容易ニ相互聯合ノ組織ヲ見難キノ狀アリ。痛ク個人主義ヲ愛シ自由自由ノ精神ニ富メル英國ノ企業家ガ一般ニ其經濟的自由ヲ捨ツルヲ忌ミ

英國ニ於ケル企業家組合ノ發達ガ經濟的利益ノ前ニ一切ヲ捨ツルノ風アル米國人及ビ組織的協同行動ノ爲ニ自我ヲ犠牲トスル習慣ニ馴致サレタル獨逸人ノ間ニ於ケルヨリモ遙ニ劣レル所以ノモノハ、畢竟他ニ種々ノ理由ノ伴フアルニセヨ、一部分ハ亦此理由ニ出デタルモノト云フ可シ。上來縷述セル外面上ノ條件ニ比スレバ此人的條件ハ一見甚ダ重キヲ爲スニ足ラザルガ如シト雖モ、企業家組合ヲ組織セントスル者及ビ之ガ研究ニ志ス者ノ又輕々觀過ス可ラザル一要件タリト云フ可シ。

要スルニ以上ノ七條件ハ企業家組合ノ發達ヲ助成スルモノニシテ、此等條件ノ備不備ニ從ヒ組合發達ノ難易ハ決定セラル可ク、該組合ノ發達ヲ沮止又ハ助成セントスル者ハ此等ノ條件ニ對シテ適宜其策ヲ施サル可ラザルモノナリ。就中大經營ノ發達ハ爾餘幾多ノ條件即チ大量生産、競争者減少等ノ原因トシテ殊ニ重要ノモノタルヲ觀ル可キモ、決シテ唯一ノ條件ニ非ズ。近代ニ於ケル企業家組合ノ發達ガ一二ノ單純ナル原因ニ出デタルニ非ズ、複雑ナル種々難多ノ經濟的關係ニ誘起助長セラレタルモノナルコト推シテ知ル可シ。

(四)

以上述べタル所ニ依リテ之ヲ觀レバ企業家組合ガ如何ナル時代、如何ナル邦國、如何ナル産業ノ上ニ發達シ、如何ナル社會、如何ナル産業ノ方面ニ發生セザルヤハ之類推スルニ難カラザル可シ。

即チ往昔資本ノ形成未ダ發達セズ、小規模ノ經營全經濟界ヲ通ジテ一般ニ行ハレシ時代ニ於テハ企業家組合ハ未ダ存在セズ。資本ノ形成漸ク進ミ大規模ノ經營漸次進歩スルニ從ヒ、大經營ノ行ハル、方面ニ漸次其端ヲ開キ、最近四五十年以來大資本ノ形成益々盛ナルニ及ビ頓ニ其大發達ヲ來タシテ經濟社會ノ組織ヲ一變スルノ勢ヲ示スニ至レリ。企業家組合ガ近世ノ資本的組織ノ産兒タルコトハ世間ノ一般ニ認ムル所タリ。(Vergl. Liefmann: Kartelle und Trusts s. 14-18).

故ニ企業家組合ノ發達ガ經濟上進歩セル邦國ニノミ其實ヲ示シ、幼稚ナル邦國ニテハ全然絶無ナルカ若シクハ多クトモ見ルニ足ルモノナキハ自然ノ成行ナリ之ト同時ニ英國ノ如キ自由貿易主義ノ邦國ニ於テハ大經營ノ發達其頂上ニ達セルノ觀アルニ拘ラズ此組合ノ發達割合ニ著シカラザルニ反シ、米獨兩國ノ如キ保

護貿易政策ヲ取レル邦國ニ於テ其興隆最モ見ル可ク、埃露ノ如キニ在リテスラ尙ホ其勢力ノ侮ル可ラザルモノアルモ亦敢テ怪シムヲ要セザル可シ。(次款參照)

次ニ又各種ノ産業ニ就テ之ヲ觀レハ企業家組合發達ノ重ナル方面ハ大工業、鑛山業及ビ運輸交通業ノ上ニ在ルヲ知ル可シ。蓋シ此等ノ事業ハ何レモ多大ノ固定資本ヲ要スル大經營ニシテ企業家ノ數割合ニ少ナク、爾餘ノ諸條件亦最モ完全ニ備ハレルモノナレバナリ。大洋航海ニ從事セル各國ノ汽船會社ガ各航路ノ營業ニソレド、賃率其他ノ聯合ヲ組織シ、鐵道私有制度ノ邦國ニ於テ鐵道會社ガ概テ聯合組合ヲ組織セルハ勿論、炭鑛業、製鐵業、精製糖業等世界ニ有名ナル國際的若シクハ內國的企業家組合及ビ「トラスト」ハ何レモ此方面ノ事業ニ屬セザルハナク。企業家組合ノ大多數ハ何レノ國ニ於テモ此等ノ産業ニ屬セリ。

之ニ反シテ農業、林業其他鑛山業ヲ除ケル原始生產業ノ方面ニハ從來殆ド企業家組合ノ成立ヲ見ズ。時ニ散漫ナル聯合組合ノ組織ヲ觀ルコトアルモ、解散ニ終ルニ非ザレバ殆ド企業家組合タルノ實效ナキモノタルノ狀アリ。其原因他ナシ、此等ノ産業ニ在リテハ各企業家間ソレド、ニ生産ノ條件及ビ方法ヲ異ニセルト共ニ

生産費亦自ラ相違シ、且ツ企業家ノ數非常ニ多キヲ常トスレバナリ。

之ト等シク商業ノ方面ニ於テモ亦此組合ノ成立ハ商業ニ特有ナル二種ノ事情ノ爲ニ頗ル困難ナルモノアリ。即チ商人ハ多ク固定資本ヲ要セズ、要スル所ハ概チ流動資本ナルガ故ニ、市場形勢ノ變動ニ際シテ多大ノ損失ナクシテ投資ノ方面ヲ變更シ得ルハ勿論、却テ此變動ニ乗ジ損失ヲ轉ジテ利益ト爲スノ機敏ナル行動コソ其眞利益ノ存ズル所ナレバ、爾餘產業者ヲシテ最モ憂悞セシメ、聯合合同ヲ形成スルニ至ラシムルノ原因タル代價ノ變動ハ商人ヲシテ毫モ苦慮スル所アラシメザルナリ。加之商業家ノ聯合ニ際シテ聯合規約確守ノ保證ト爲ルモノハ組合員各自ノ對人義務ノ外復タ他ニ存ズルコトナク、之ヲ工業家其他ノ企業家組合ノ場合ニ於テ組合員ガ其企業全體ヲ舉ゲテ組合ノ盛衰ト運命ヲ共ニスルノ實アルニ比スレバ實際上保證ノ效力ノ薄弱ナルコト敢テ多言ヲ要セザル可シ。商業家ノ組合ノ成立困難ニシテ維持繼續ノ容易ナラザル主トシテ此二因ニ基ヅク。然レバ商業家ノ組合ハ縱令ヒ成立スルコトアルモ、概チ久シカラズシテ解散ノ運命ニ陷ルヲ常トスレドモ唯其組合ガ既ニ聯合一致セル商品生産者ノ組合ニ對シ其專横ヲ防

ノ目的ニテ起レル所謂反對同盟又ハ防禦的企業家組合ナル時ハ對立セル組合ノ存續スル限り永ク維持セラル、ノ風アリ。又自衛ノ必要ニ出デタルモノト云フ可シ。

其他各業ノ詳細ニ就テ一々其具備スル如上ノ條件如何ヲ調査シ來ラハ企業家組合組織ノ成否ト其存續ノ難易トハ豫メ之ヲ推知スルニ難カラザル可ク、企業家組合ヲ組織セントスル者亦依テ以テ無益ノ盡力ヲ避クルヲ得可シ。單ニ一二ノ便宜ナル事情ヲ見テ直ニ其組織ヲ夢想シ又ハ其發生ノ原因ヲ一ニ之ニ歸セントスルノ徒ハ蓋シ輕卒臆斷ノ誹ヲ免レザル可キナリ。

(五)

上來ノ所說ニ之ヲ徵スレハ保護的關稅ガ企業家組合ノ發達ニ及ボス其影響モ亦之ヲ推知スルニ難カラズ。既ニ前々款ニ之ヲ述ベタルガ如ク、保護稅ハ其稅額ノ範圍以內ノ代價ニ於テ外國競爭者ノ侵入ヲ杜絕スルガ故ニ著シク競爭企業家ノ數ヲ減少スルノ實アリ。然カモ斯克競爭圈外ニ驅逐セラレタル競爭者ハ通例内國企業家ト生産方法及ビ生産條件ヲ異ニスルコト最モ甚シキモノナルガ故ニ、企業

家組合成立ノ爲ニハ頗ル有力ノ援助ト云ハザルヲ得ズ。加之企業家ノ見地ヨリ之ヲ觀レハ保護稅ハ國家ガ内國企業家ヲ保護センガ爲ニ外國競爭者ヲ杜絶シテ内國企業家ニ當該產業生産物獨占ノ利益ヲ得セシムルモノニ屬シ、外國競爭者ト同一ノ生産費ニ依リ生産シ得ル以上、關稅ノ全額及ビ外國ヨリノ運賃丈ケハ純利潤トシテ内地企業家ノ掌中ニ歸シ得可キモノタルノ觀アリ。然ルニ國家ノ此保護ノ利益ヲ充分ニ收メンガ爲ニハ企業家ハ合同一致以テ生産物ノ代價ヲ充分高位ニ維持セザル可ラズ。内地企業家互ニ競爭ヲ事トシ代價ノ下落ヲ惹起スニ於テハ保護稅ノ利益享受ハ到底之ヲ期待ス可ラズ、企業家組合ノ組織ハ正ニ國家ノ保護稅實施ト其目的ヲ等フスルノ狀アリ。其組織容易ニセラル、ト共ニ一方ニ斯ル好餌ノ存ズルアリ。然ラズンハ發生セザル可キ幾多企業家組合ノ保護稅ノ爲ニ誘起セラル、何ゾ怪ムニ足ラン。采國糖業「トラスト」ノ總理ヘーヴマイヤー揚言シテ曰ク保護稅ハ所謂「トラスト」ノ母 (Mother of all trusts) ナリ、高率ナル精糖保護稅ノ永續スル見込ナクシハ余ハ秋毫モ精糖業ニ資本ヲ投下セザル可シト。保護稅ガ企業家組合ノ發達ヲ助成スルノ實アル以テ見ル可シ。

併シヘーヴマイヤー其人ノ如ク一切ノ企業家組合ヲ以テ保護的關稅ノ産兒ト爲シ、保護稅ナクンハ企業家組合起ルコトナシト論ズルハ言辭少シク正鵠ヲ失セ
ルモノト云ハザル可ラズ。斯ル議論ハ幾多ノ學者、殊ニ自由貿易主義ノ論者ノ主張
スル所ニシテ、企業家組合ニ隨伴スル一切ノ弊害ヲ保護稅ノ罪ニ歸セントスルハ
此等論者ノ通態ナレドモ、保護的關稅ト企業家組合トノ間ニハ必ズシモ常ニ原因
結果ノ關係ヲ存ズルモノニ非ズ。保護關稅ハ企業家組合發生ノ必須ノ原因ニモ非
ズ、又豫備條件ニモ非ズシテ唯其成立ヲ容易ナラシムル一條件タルノミ。一方ニ於
テ保護稅ノ下ニ立テル産業ニ必ズシモ企業家組合ノ發生スルコトナキト共ニ、地
方ニ於テ關稅保護ヲ享受セザル産業ニモ其發生少ナカラザルハ實際ノ事實ノ明
ニ證明スル所ナリ。現ニ此種組合ノ泰斗タル米國ノ「スタンダード石油」トラス
ト^{イムベリル}、毫モ保護稅ノ澤ニ浴セズシテ起リ、關稅保護ノ全然闕如セル英國ニ於テスラ帝國
煙草會社^{タバコ・ソシエテ}「サルトユニオン」其他無數ノ企業家組合ノ發達セル、若シクハ廣大ナル幾
多ノ國際的企業家組合ノ世界全國ヲ目的トシテ發生セル何レモ其歷證ニ非ザル
ハナシ。其他一八六五年白耳義ガ自由貿易主義ノ政策ヲ採用セルニ拘ラズ企業家

組合ノ發生ハ爲ニ防害セラレズシテ益々隆盛ト爲リ獨逸ノ企業家組合ノ發達ガ一八七九年ノ關稅政策實施以前ニ夙ニ其端ヲ開キタル又然リ。保護的關稅ト企業家組合トノ間ニハ密接ナル關係ノ存ズルコト論ナシト雖モ、兩者ノ關係ヲ目シテ常ニ不可分のノモノト爲スハ誤レルノ甚ダシキモノト云フ可キナリ。

要スルニ企業家組合發達ノ上ヨリ觀レハ保護的關稅ノ效力ハ唯々該組合ノ發生ニ便宜ナル一種ノ形勢ヲ造リ其成立ヲ容易ナラシムルノ一事ナルノミ。上述セル諸條件ノ具備スルニ於テハ自由貿易制度ノ下ニモ亦此組合ノ發達ヲ見ル可キナリ。之ト同一ノ理由ニ依リ保護稅ノ廢止ガ全然企業家組合ヲ撲滅スルノ手段ト爲ルモノニ非ズ、企業家組合ノ弊害矯正ノ手段トシテ關稅ノ效力モ亦從テ常ニ有力ナルモノニ非ズ、唯々其組合ガ關稅ノ保護ニ依リテ初テ勢力ヲ維持スルモノナル場合ニ於テハ其專横矯正ノ手段トシテ關稅ノ低減又ハ廢止モ或程度マデ有效ナル可シト雖モ、關稅ニ依賴セザル彼ノ「スタンダード石油トラスト」ノ如キモノニ對シテ關稅政策ハ秋毫モ制裁ヲ加フルノ具ト爲ラザルナリ。蓋シ他ニ企業家組合ノ發生隆昌ヲ支配スル幾多ノ事實ノ存ズルアレハナリ。

其他保護的關稅ト企業家組合トノ關係上前者ガ後者ノ成立ニ及ボス影響ヨリ
 モ一層世間ノ議論ヲ動カセル問題ハ前者ガ後者ノ行動ニ及ボス影響ナリ。保護稅
 ガ企業家組合ヲシテ所謂賤賣 (Underselling) 又ハ Dumping) ナル一種ノ生産物販賣政
 略ヲ取ルニ至ラシムルノ事實是ナリ。此賤賣トハ企業家組合ガ關稅ノ保護ヲ奇貨
 トシテ內國ニ於ケル其生産物ノ代價ヲ可及的高位ニ保持シ一方ニハ外國市場ニ
 對シテ非常ノ低價ニ其生産物ヲ輸出スルノ政略ヲ云ヒ、基礎鞏固ナル企業家組合
 ノ屢々採用スル政略ナリ。即チ獨逸ノ企業家組合調査委員ノ報告ニ依レハ獨逸ノ
 コークス〔企業家組合ハ內國ノ相場十七馬克ナルモノヲ外國ニハ八馬克乃至十馬
 克ノ相場ニテ輸出シ鐵業組合ハ其製造品ヲ內國百五十馬克外國百三馬克ノ代
 價ニ販賣セリト云ヒ、又米國ニ於ケル調査ノ結果モ略々同様ニテ、即チ鋼鐵トラス
 トハ內國ニ二十八弗ニテ賣捌ク鋼鐵ヲ外國輸出ニハ二十三弗ト爲シ米國煙草會
 社亦同様ノ策ヲ取レリト云フ。(Baumgarten und Meszénny: a. a. O. s. 27-28) 此ノ如ク國
 ノ内外ニ依リ賣價ヲ區別スルヲ得ルハ内外ノ間ニ自由競争ノ行ハレザル場合ニ
 限レルコトニシテ、若シ外國ノ競争存在センニハ國內ノ高價ハ到底維持スルヲ得

ザル可シ。企業家組合ヲシテ斯ル專横ノ行動ヲ採ルヲ得セシムルモノハ内外ノ間ニ牆壁ヲ設クル保護的關稅カ若シクハ高價ノ運賃ニ外ナラザルナリ。

國外ニ非常ノ廉價ヲ以テ販賣スル其一方ニ國內ニテハ非常ノ高價ヲ貪リテ同胞消費者ニ損害ヲ與フトハ企業家組合ノ專横ヲ憤リ保護政策ノ害ヲ嘆ズル者ノ屢々說ク所、一見至當ノ議論タルニ相違ナシト雖モ、企業家組合ノ此政略ニ關シテハ利害ノ關係頗ル紛糾セルモノアルガ上ニ學者ノ見解亦未ダ一樣ナラズ容易ニ論斷シ難キノミナラズ、其關スル所主トシテ企業家組合ノ結果ノ問題ニ屬シ、其基因ニ關セザルヲ以テ、之ガ詳細ノ議論ハ之ヲ後日ニ譲リ、此ニ吾人ハ唯々次ノ事實ヲ斷言スルニ止メントス曰ク、

企業家組合ノ此政略ハ生産過剩ノ場合ニ於テハ其過剩生産物ヲ比較的有利ニ處分シ、經營ノ緊縮又ハ中止ヨリ生ズル慘害ヲ豫防スル一種ノ安全瓣トシテ必ズシモ非認ス可キモノニ非ズ。唯々此政略ヲ永續スルハ決シテ國民經濟上有利ノ策ニ非ザル可シ。殊ニ原料品及ビ半製品ノ生産者ガ斯ル政略ニ出ヅルハ内地ノ精製業者ヲ害シ外國精製業者ヲ援助スル手段ニシテ最モ有害ナルモノナリト (Lieberman-)

附 言

企業家組合發生ノ原因及ビ發達ノ條件ハ大略以上ニ論ジ終レリ。翻テ我國昨今ノ經濟界ヲ觀レハ大企業ノ發達ハ漸ク進ミ、交通機關ノ發達、組織的精神ノ勃興ハ漸ク進ミ、競爭ノ實愈々加ハリテ企業家組合萌芽既ニ大ニ萌セルモノアリ。通商條約改正ノ期迫リ來リテ當路者及ビ在野論客ノ間ニ保護貿易主義ノ熱漸ク高カラントス。從來協定稅率條約或ハ破棄セラレテ保護主義ノ關稅實施セラレ企業家組合ノ發達ニ更ニ一大助因ヲ加フルノ日近キ將來ニ來ルナシトセズ。企業家組合ノ效果及ビ得失ヲ究メ其對策ヲ研究スルハ正ニ今日ニ於ケル隔戸綢繆ノ策ナル可シ。此ニ此組合ノ起因ヲ論ジ來リテ聊カ世間ノ注意ヲ促ガシ、且ツ他日機ヲ改メテ自家ノ所見ヲ大方ノ讀者ニ問ハンコトヲ期スルモノナリ。

其他本論ニ於テ吾人ハ「トラスト」「プールの」「カルテル」等ノ區別ヲ一切無視シ、企業家組合ナル名稱ノ下ニ一括シテ之ヲ論ゼリ。蓋シ全ク區別ヲ認メザルニ非ザルモ議論ノ根本ニ關セザルヲ以テ之ヲ總括一視セルナリ。其區別ノ如キ亦他日審ニ之

第三卷

(六七六)

・論 説

企業家組合ノ起因及び保護的關稅ニ
對スル其關係

第五號

九六

ヲ論ズルノ機アル可シ。讀者須ラク之ヲ諒セラル可シ。(完結)

(明治四十年八月十五日夜擱筆)